



のべおか



第59号

平成26年5月1日発行
(2014年)

発行:延岡市議会
編集:広報・広聴特別委員会

〒882-0813 延岡市東本小路121-1
TEL (0982) 22-7029

市議会だより

シリーズ ~延岡の観光スポット(北川町編)~

たまには
身近なところも
いっちょやない??



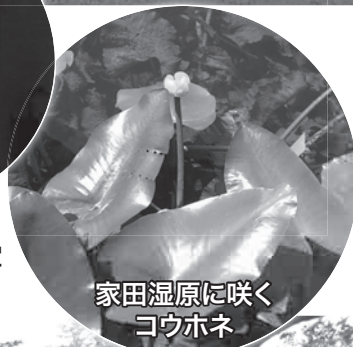
道の駅 北川はゆま



北川陵墓参考地



小倉処平
加療の地記念堂



家田湿原に咲く
コウホネ



ホオリノミコト像(祝子川温泉)

☆主な掲載内容.....(ページ)

- ◆議会活動報告会開催.....2
- ◆3月議会で決まったこと.....3
- ◆一般質問.....4~7
- ◆当初予算審査、編集後記.....8



開かれた議会を目指して

市議会では、議会基本条例に基づき、開かれた議会の一環として、議会活動報告会を開催しています。

報告会では議会の仕組み、各常任委員会が行った事務調査の経過や、直近の定例議会での議案審査結果などを報告し、参加者の皆様と意見交換を行って



▲恒富南コミュニティセンター（4班）



▲南方東コミュニティセンター（3班）

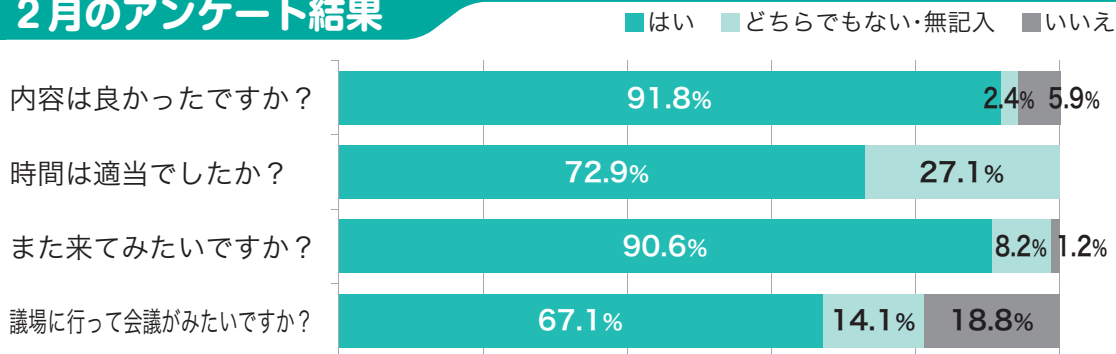
います。

2月には北浦地区・南方地区・恒富地区で開催し、約160名の方に参加していただきました。

アンケートは下の表をご覧ください。

また、4月14日には伊形・岡富地区、16日には、島浦地区でも開催しました。

2月のアンケート結果



▲北浦町公民館（1班）

今後の開催予定

平成26年度も引き続き議会活動報告会の開催を予定しています。

詳細な日時、開催場所につきましては改めてお知らせいたします。



良かった点

- ・各議員がそれぞれの分野で一生懸命勉強され、いろいろな問題に取り組んでいるのがよく分かった。
- ・回数を増やして市民の声を聞いて欲しい。
- ・日頃頑張っているのがよく分かった。
- ・大変良かった。今後も継続して欲しい。年1回程度上南方地区でも開催して欲しい。

改善点

- ・質問する人1人当たりの時間が長い。
- ・質問の時間を長くともってほしい。
- ・遠方だけでなく、近くの視察の話もしてほしい。
- ・短時間で総括的な説明でよく理解できなかった。1つの事例をもっと具体的に突っ込んで説明して欲しかった。
- ・地区にしばっての説明もしてほしい。
- ・早口の説明で分かりづらい。
- ・1班当たりの議員数は4～5名でもいい。
- ・他の話題が中心になり、地域内の質問をできなかった。



今後も見直しを加えながら開催していきますので、皆さま是非ご参加ください。

3月議会で決まったこと

3月議会では、各会計当初予算や延岡市一般職職員給与条例の一部改正など25件を可決(承認)し、1件の報告を受けました。

また、一般質問では3日間のうち、2日間は、会派代表質問で6名(他、関連質問3名)、個人質問で4名が登壇し、市長の政治姿勢など、多岐にわたる質問が活発に行われました。当初予算の詳細は8ページをご覧ください。

可決(承認)した議案と報告などの一覧

議案

- 平成26年度 延岡市一般会計予算
- 平成26年度 延岡市国民健康保険特別会計予算
- 平成26年度 延岡市食肉センター特別会計予算
- 平成26年度 延岡市介護保険特別会計予算
- 平成26年度 延岡市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成26年度 延岡市水道事業会計予算
- 平成26年度 延岡市下水道事業会計予算
- 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- 延岡市税条例の一部改正
- 延岡市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定
- 延岡市営住宅条例の一部改正
- 延岡市企業立地促進条例の一部改正
- 延岡市老人デイサービスセンター条例の一部改正
- 延岡市社会教育委員条例の一部改正
- 市道の路線認定(3路線)
- 平成25年度延岡市下水道事業会計資本剰余金の処分
- 専決処分の承認(消防団ホースによる車両損傷事故)
- 副市長の選任(杉本 隆晴氏)
- 平成25年度 延岡市一般会計補正予算
- 平成25年度 延岡市国民健康保険特別会計補正予算
- 平成25年度 延岡市介護保険特別会計補正予算
- 平成25年度 延岡市後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成25年度 延岡市水道事業会計補正予算
- 平成25年度 延岡市下水道事業会計補正予算
- 延岡市一般職職員給与条例の一部改正



報告案件

専決処分の報告(除草作業中における車両損傷事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定)

議会が市長に政策提言!!

3月26日に正副議長と政策提言議員協議会の正副代表幹事の4名で市長に政策提言書を手渡しました。この提言書は、市長等との意見交換などを踏まえ、これからの市政運営に対する議会としての意見や要望をまとめたものです。提言内容は次のとおりです。

「観光PRの推進・拡充」について

(1) 新たな組織を活用したPR戦略の推進

- ① PR体制の一元化
- ② 観光の柱となる新たな素材の発掘
- ③ 延岡市の売り込みの強化

「定住促進対策」について

(1) 雇用対策

- 「本市独自の施策を講じ、雇用機会の拡大を図ること」
- ① ビジネスマッチング・雇用マッチングを柱に、産業界や延岡地域雇用促進協議会と連携し、ビジネスチャンスの拡大支援や雇用機会の創出に取り組むこと。
- ② 本市の観光や物産の情報発信基地となる新たな集客施設の整備を検討すること。

(2) 若年及び退職後世代の定住促進

「若年及び退職後世代に配慮した定住促進施策の充実を図ること」

- ① 廃屋対策や環境保全、地域の活性化の観点より、空き家情報の把握に努め「空き家バンク」制度の早期導入を図ること。
- ② 本市独自の移住・定住促進事業を創出し、将来を担う若者やU・J・ターンを支援する取り組みを進めること。
- ③ 情報誌やICT(情報通信技術)を駆使し、豊かな自然環境と魅力的な生活環境、本市独自の定住促進施策のPRに努め、流入・定住人口の促進に繋がる情報発信に努めること。



3月4日	 <p>のべおか市民派クラブ 代表質問 甲斐正幸議員 関連質問 河野治満議員</p> <p>△企業誘致 △アスリートタウンのべおか △消防団員確保 △道の駅北浦の今後の展開 △協働共汗公園づくり事業 他</p>	 <p>延岡きずな自民の会 代表質問 上田美利議員 関連質問 内田理佐議員</p> <p>△財政運営の展望 △部局横断型チーム(CFT) △大規模林道の整備 △延岡市子ども・子育て会議 △特別支援教育サポート事業 他</p>	 <p>社民党市議団 代表質問 佐藤大志議員 関連質問 長友幸子議員</p> <p>△介護保険制度改革 △消防力の組織強化 △子どもの貧困対策 △学校給食の地産地消 △臨時職員の処遇改善 他</p>
	 <p>無所属クラブ 代表質問 高木益夫議員</p> <p>△職員の55才昇給停止 △鹿児島市との交流 △ふるさと納税 △市外客おせっかい商品券 △職員不祥事の管理監督責任 他</p>	 <p>友愛クラブ 代表質問 本部仁俊議員</p> <p>△財政の将来展望 △市内同時防災訓練の実施 △駅周辺整備の取組み △城山周辺整備の取組み △(仮称)教育研修センター 他</p>	 <p>公明党市議団 代表質問 西原茂樹議員</p> <p>△本市の財政状況 △超小型電気自動車の導入 △ふるさと納税の充実 △防犯灯のLED化 △踏切の安全性の確保 他</p>
	 <p>佐藤裕臣議員(延岡きずな自民の会) △市長選挙 △アユ資源の管理 △北浦インターパーク 他</p>	 <p>白石良盛議員(延岡きずな自民の会) △内藤記念館再整備 △企業誘致 △稲田川の整備 他</p>	 <p>平田信広議員(日本共産党) △住宅リフォーム助成事業 △給食費の消費税増税の影響 △消費税増税による条例改正 他</p>
3月5日	 <p>上杉泰洋議員(無所属クラブ) △津波避難タワーの整備 △消費税対策 △乳幼児医療費助成 他</p>	 <p>平田信広議員(日本共産党) △住宅リフォーム助成事業 △給食費の消費税増税の影響 △消費税増税による条例改正 他</p>	 <p>平田信広議員(日本共産党) △住宅リフォーム助成事業 △給食費の消費税増税の影響 △消費税増税による条例改正 他</p>
3月6日	 <p>佐藤裕臣議員(延岡きずな自民の会) △市長選挙 △アユ資源の管理 △北浦インターパーク 他</p>	 <p>白石良盛議員(延岡きずな自民の会) △内藤記念館再整備 △企業誘致 △稲田川の整備 他</p>	 <p>平田信広議員(日本共産党) △住宅リフォーム助成事業 △給食費の消費税増税の影響 △消費税増税による条例改正 他</p>

議員13名が質問

※質問の一部を掲載します。

市政を問う!!



▲クレアパーク延岡工業団地

3月4日質問

企業誘致

【問】クレアパーク第2工区は、用地分割による企業誘致を目指しているが、その後問い合わせはあったのか。また、今後の企業誘致の方針や可能性は。

【答】分割分譲に対する企業の反応は、複数の企業から問い合わせがあった。これらの企業とは、新規雇用者数や投資規模、事業スケジュールなどに関する協議を行ってきている。クレアパークは地域経済の活性化や雇用の拡大を図るために整備されているので、地域経済への波及効果や新規雇用の人数などを十分に考慮しながら対応したい。

アスリートタウンのべおか

【問】来年度の、大会・合宿誘致推進事業は、今年度の2倍近い予算が計上してあるが、本市へのキャンプ誘致を積極的に行うものか。

【答】大会・合宿誘致については、順調に進捗していると思っている。来年度の取り組みは、芝生管理をはじめとする管理機器の購入や市民体育館のトレーニング機器の更新などを行い、受入体制の充実を図りながら、大会や合宿の誘致・定着に努めたい。

消防団員確保

【問】消防団員確保のため、市内の事業所や団体の協力を得て消防団員に対する優遇措置を実施する消防団サポート事業に取り組んでは。

【答】消防団サポート事業は消防団協力事業所表示制度の一環として行われている地域ぐるみの消防団活性化対策である。しかし、公費での助成を行わないため、店舗や地元商工会等の団体の自助努力と協力が必要不可欠となるため、全国でも限られていないが、最近では徐々に増

財政運営の展望

【問】過去最大規模の予算であるが、市債増に対する展望は。

【答】市債残高については、平成20年度をピークとして減少傾向にある。平成26年度は、新庁舎建設等の大型事業により、残高は一時的に増加する。財政健全化計画に基づき、新たな借入額を元金償還額の範囲内とすることで、残高は減少していくものと見込んでいる。

部局横断型チーム(CFT)

【問】組織の枠を越えて、人員・予算等を集中させ、調査・研究や事業を行う「CFT制度」の取り組みの目的は。

【答】「延岡新時代事業推進チーム」は、高速道路開通効果を観光、その他の産業振興や企業誘致の実現、地域医療の充実、災害対策など様々な分野に活かすための施策の立案やその展開をリードする

ことを目的とする。来年度早々に設置し、取り組みもスピード感をもって進める。

大規模林道の整備

【問】幹線林道の草刈りなどの整備が、マンパワー不足により困難である。その対策は。

【答】幹線林道の草刈りについては、全てには対応できない状況である。効率的な維持管理の方策については研究する。

延岡市子ども子育て会議

【問】「延岡市子ども子育て会議」の進捗状況とニーズ調査の結果、現時点で見えてきた課題は。

【答】第1回目の会議を11月に開催、あと2回開催する予定。ニーズ調査では76・9%という高い回収率で、この調査結果や課題については、今後会議の中で検討してもらう。

特別支援教育サポート事業

【問】市内公立校の中で特別支援が必要な児童生徒数は。また、支援員の数は十分か。

【答】昨年11月に、小中学校を対象に行った調査で、特別支援学級に在籍している児童生徒が202名、通常学級におい

て何らかの支援が必要な児童生徒が75名で、支援員の数は十分とは言えない状況にある。今後とも、支援員の確保に努める。

介護保険制度改革

【問】保険給付サービスには要支援者の重度化を防ぎ、日常生活を維持する予防的な効果があるが、改革により要支援者の重度化が進み、むしろ給付費が増えるのではないかと考えるが。

【答】地域支援事業に移行しても、これまでの保険給付サービス内容は継続をする。引き続き効果的で効率的なサービス提供に努める。高額所得者などへの2割負担や食費、居住費などが負担増となることは、大変心苦しく思っている。

消防力の組織強化

【問】西臼杵3町の常備消防化による派遣要請などが想定され、本市の消防力の低下を懸念する。防災・減災対策を推進するには消防力の人員強化が必要と考えるが。

【答】警防体制を確保しながら、将来の消防力が低下しないよう採用数や年齢層を平

準化するために計画採用を実施している。防災や減災には、警防体制の確保が第一であり、必要な人員確保は、行つていかなければと考えている。

子どもの貧困対策

【問】地域や行政も子育て問題に関わる必要があり、経済的援助も必要と考える。貧困に苦しむ親子たちと、正面から向き合つてほしいと考えるが。

【答】経済的な支援のみならず、学習支援や就労支援など、幅広い対策を講じていくことが必要である。生まれ育つた環境によつて、子どもの将来が左右されることのないよう取り組みを進めたいと考える。

学校給食の地産地消

【問】地元の野菜や魚を、学校給食に使い地産地消に努めることが、第一次産業の活性化や雇用につながるかと考えるが。

【答】地元農林水産物が学校給食で利用されることは、一次産業者にとつて安定した供給先の確保と経営につながるかと考える。また、子ども

達に地元の食材への理解や知識を深める機会になると考える。



▲学校給食展

3月5日質問

職員の55歳昇給停止

【問】国は国家公務員の55歳以上昇給停止を実施しており、地方公務員にも要請している。本市も国に準じるべきでは。

【答】本市は55歳以上の職員について、定期昇給時の昇給号俸数を2分の1に抑制している。他市の状況等を踏まえながら検討する。

鹿児島市との交流

【問】西郷隆盛と西南の役を縁に鹿児島市との交流につ

いては、「互いの市民の機運が醸成していない」と門前払いされてきた。東九州高速道路が開通するこの時期に、交流開始を検討しては。

【答】行政間の交流は、市民レベル・経済レベルでの交流を見極めながら検討する。



▲西郷隆盛宿陣跡資料館

ふるさと納税

【問】延岡市は314万円のふるさと納税額だが、綾町は「ユネスコエコパーク綾の森を守る事業」というインパクトのある訴えにより、寄付金は2億円を超している。

本市も、西郷隆盛と西南の役継承支援事業での納税強化を検討しては。

【答】西郷隆盛と西南の役は、本市の歴史・文化を語る上でも重要な出来事と考えている。その支援事業の取扱いについては、現在の取り組みを



検証する中で、具体的なPR方法について検討する。

市外客お世話したい商品券

【問】高速道路で延岡に來られる購買意欲のあるお客さんに市内で買物をしてもらう仕掛けが必要だ。市外・県外客専用のお世話したい商品券(プレミアム商品券)の発行を検討しては。

【答】今後の商品券事業の実施にあたっては、市外・県外客専用商品券という手法も含めながら、これまでの検証も踏まえ、商工会議所や商工会、商店会連合会などと協議をする。

財政の将来展望

【問】本市の市債残高の現状と将来展望は。

【答】市債残高は、平成25年度末見込みで約1062億円であり、ピークの平成20年より約110億円減少した。今後も安定的な財政運営に努めていく。

市内の同時防災訓練

【問】事業所や学校、病院等実際の災害に近い形での合同防災訓練や、市内全域での同時防災訓練を行えないか。

【答】地域・学校・事業所等合同防災訓練の実施に向けた働きかけを行い、市内全域の同時防災訓練の実施を今後検討していく。

延岡駅周辺整備

【問】今後の全体スケジュールは。

【答】平成27年度完成を目標に跨線橋や東西自由通路を整備する。また、平成29年度には複合施設や駅前広場等の施設をJR九州の行う延岡駅全面改修と調整を図りながら整備していく。

城山周辺整備



▲城山三階櫓跡地

【問】城山周辺整備の今後の取り組みは。

【答】平成26年度に城山石垣等の見せ方をシミュレーションし、方策と課題を抽出す

る。三階櫓さんかいぐらについても忠実な復元を目指し実現の可能性を探る。

(仮称)教育研修センター

【問】教育の調査研究を含めた拠点となる(仮称)教育研修センターの設置はできないか。

【答】指導者及び教育機器、研修資料や文献等整備した教育研修施設の設置については、学校跡地・使わなくなった公共施設の再利用も含め今後検討していく。

本市の財政状況

【問】市の借入金が一千億円以上あり、市が潰れるのではないかと、心配をされている市民がいるが。

【答】財政の健全度を示す指標は、健全に保たれており、全国の自治体の中で、中間に位置しており、潰れる事は絶対ではない。

超小型電気自動車の導入

【問】全国のおよそ30の自治体で、超小型電気自動車の実証実験が行なわれているが、本市でも他市に先駆ける取り組みはできないか。

【答】超小型電気自動車の実証実験については、企業の地

元や離島などでモデル的に行なわれている。これらの動向も見極めながら、燃費や走行性能、環境負荷、信頼性など様々な角度から検討し、より適した車の選定を行なっていく。

ふるさと納税の充実

【問】多くの自治体が寄付者への特産品贈呈やインターネットでのクレジット決済を導入している。今後の取り組みは。

【答】特産品の贈呈については、現段階では考えていない。クレジットカードによる寄付については、引き続き検討する。

防犯灯のLED化

【問】市内にある防犯灯を、市の責任でリース方式のLED化にすべきでは。

【答】25年度より、LED設置補助金を制度化しており、市の負担によるすべての防犯灯のLED化については、今後の研究課題と考える。

踏切の安全性の確保

【問】踏切の中で、歩道と車道が分離されておらず危険と思われる踏切があるが、当局の危険性の認識と今後改良

についての考えは。又、市内全域の危険個所の調査をして欲しい。

【答】危険な状況は十分認識している。しかし、JR等の関係機関との協議や多大な経費が必要となり、早急な改良は困難と考える。調査については検討したい。

3月6日質問

市長選挙の投票率

【問】投票率が過去最低となっている。この要因をどのように考えているのか。

【答】政治への無関心やレジャー等の優先などが言われている。特に若者には政治に関心を持ってもらう事が大変重要な課題であると認識している。

アユ資源の管理

【問】近年アユ資源は減少の一途をたどっているが、その対策は。

【答】内水面漁協に対する支援や業界関係者に理解を求め、自主規制や海産稚アユ漁の制限など、県と市が一体となって、アユ資源回復に取り

組む。

北浦インターパーク

【問】北の玄関口としての、北浦の地域振興策は。

【答】国の基準で北浦インターパークの建設が困難と判断した時点から、代替案を検討してきた。市有地に漁業者で組織する団体が特産品の直売所等の施設を建設する予定であり、市も連携し、支援をする。

内藤記念館再整備

【問】後藤勇吉は空の先駆者であり、延岡の英雄である。再整備において、常設展示場を設置しては。

【答】再整備計画における展示計画の中で、具体的に検討したい。



▲後藤勇吉 像 (妙田緑地公園内)

企業誘致

【問】東九州自動車道を活用

した戦略と、地元企業との連携は。

【答】県と連携して開通効果のアピールする。北部九州に立地する大手自動車メーカーと、地元企業との新たな取引が始まる可能性も見えてきた。こうしたビジネス誘致にも積極的に取り組む。

稲田川の整備

【問】無鹿町稲田川排水路の水質改善に向けた今後の取り組みは。

【答】土砂撤去については、今年度県と市で行い、整備工事は今年の秋から国が実施する。これにより、水のおよびみが見え、水質改善が図られるものと考えられる。

津波避難タワーの整備

【問】市長公約に、津波避難タワーの整備等推進とあるがどのように進めるのか。

【答】国の南海トラフ地震特別措置法による津波避難対策の指定が行われた後、最短期間に到達時間内に避難できる場所のない地域には、避難場所の指定と併せ、来年度、津波避難タワーを始めとした避難場所等の確保に向け、地域住民の皆様と相談しながら検討する。



▲民間企業が設置した津波避難タワー

消費税増税対策

【問】消費税増税対策として、過去実施し、効果のあったプレミアム付商品券を復活させ、消費税対応と商店街の活性化を図る考えは。

【答】今回の消費税増税に関して、地元消費の拡大・商店街の振興等を、現在関係機関と協議をしている。プレミアム付商品券の発行も、地元消費の拡大が大きな目的であるので、併せて検討する。

住宅リフォーム助成事業

【問】住宅リフォーム助成事業の消費税増税対策や商店街活性化リフォーム助成事業の導入を行っては。

【答】対象工事の最低金額を20万円から10万円に引き下げ、利用しやすくした「商店街活性化リフォーム事業」は、商店街や商工会議所とも既

に協議を進めている。

給食費の消費税増税の影響

【問】消費税増税の影響で学校給食費もあがるのか。

【答】検討が終了しているところは一食あたり10円前後、月に200円程度値上げになる。

消費税増税による条例改正

【問】今回の議案にある消費税引き上げに伴う、52の条例改正の内容は。

【答】8%の増税は地方公共団体が実施するサービスや施設利用料などについても例外ではない。市としては、端数処理して、10円未満は切り捨てとし、コイン式で納付しているものは100円未満を切り捨て、市民の負担に配慮した。

本会議は市民の皆様に公開されています。

議場は中小企業振興センターに移転しています。

議会における本会議、委員会は原則すべて傍聴することができます。定例会や臨時会の本会議を中小企業振興センター3階議場の傍聴席から、明日の延岡のまちづくりを目指す議会と市当局とのやりとりを聴いてみませんか。

また、一般質問の様子はケーブルテレビやFMのべおかでも生中継されています。

その他、本会議の記録は「会議録」として、インターネットで検索することができます。

◆テレビ放映

ケーブルメディアワイワイ 111チャンネル

◆FMのべおか

88.6MHz ラジオ放送

◆会議録検索システム

延岡市ホームページ>延岡市議会>会議録検索

用語解説

【注1】部局横断型チーム(CFT)

部局横断的に様々な経験や知識を持ったメンバーを集め、組織的な課題などの解決にあたるチームのこと。「延岡新時代事業推進チーム」と「農商連携チーム」が新設されている。

【注2】ニーズ調査

平成27年度からスタートする子ども子育て支援新制度に向け、子育て世代の保護者に教育・保育などの支援に関する利用状況や今後の利用希望を把握することを目的とした調査のこと。



平成26年度各会計当初予算を審査しました!!

平成26年度各会計当初予算は、3月議会において、「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」は賛成多数で、「食肉センター特別会計」「水道事業会計」「下水道事業会計」については全員異議なく可決しました。

本予算は、議長を除く議員27名で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。各分科会での質疑応答の一部をご紹介します。

区 分		26年度	25年度	伸率(%)
一般会計		606億8,800万0千円	553億4,100万0千円	9.7
特別会計	国民健康保険	163億3,092万6千円	165億1,034万0千円	△1.1
	食肉センター	10万0千円	10万0千円	0
	介護保険	131億6,536万4千円	129億3,719万7千円	1.8
	後期高齢者医療	15億7,454万9千円	14億8,280万3千円	6.2
企業会計	水道事業	44億6,845万9千円	43億0,028万2千円	3.9
	下水道事業	71億5,343万3千円	62億1,289万5千円	15.1

元気のいい三北地域づくり支援事業

Q. 平成25年度と比較して予算額が300万円増加している理由は？

A. 平成26年度から『産業支援枠』ということで、3北地区を拠点とした新規事業の展開や新製品の開発などへの支援として、新たに各地区100万円ずつの予算を増額したため。

橋梁長寿命化修繕事業

Q. 橋梁の調査点検委託の詳細は？

A. 市内にある672橋のうち、この調査点検では、危険度が高い13橋について実施設計を行い、360橋について目視点検という形で実施する。残りの299橋のうち、140橋は現在安全と判断しており、159橋は市民生活への影響が少ないものであるため対象とはしていない。

商 工 費

Q. 高速道路開通を見据え、もっと予算をつけるべきではないか？

A. 観光振興対策事業費としては、高速道路開通に伴う誘客や、イメージアップ事業などの新規事業を含め、前年度比約1,800万円の増額となる予算を計上している。

保健体育費

Q. スポーツ施設などの環境整備についての今後の方策は？

A. 平成26年度は、妙田公園の芝生管理の機材購入や市民体育館のトレーニング機器の整備に取り組む。その他については、来年度から策定に取り組む、新たな『アスリートタウンのべおか・スポーツ振興計画』の中で検討していく。

なお、予算審査特別委員会では、職員の再任用制度に関して、その給料の額については、県内他市の状況を勘案のうえ対応を検討することを求める附帯決議(委員会としての意見)を賛成多数で可決しました。



▲議会だよりの編集作業中

時代を超え、はゆまの安らぎを楽しみに、北川町へ出掛けてみませんか。

約1300年前の飛鳥時代の頃より、駅馬の古い呼び名である「はゆま」という言葉…。

今回は、北川町です。「道の駅北川はゆま」一押しのからくり時計には、雄大な大崩山をバックに馬と男の子・女の子が楽しく音楽を奏でます。

編集後記

風薫る好季を迎え、海・山・川の美しい景色が一層輝きを帯びてきました。お散歩を楽しみたくなる季節ですね。

さて、今年度発行する議会だよりの表紙では、延岡市内の観光地をシリーズ化してご紹介しようという計画しました。